

令和5年度 第2回 我孫子市水道事業運営審議会

## 会 議 報 告

日時：令和6年2月14日(水) 午前10時～11時30分

場所：水道局庁舎3階 経営会議室

出席委員：（50音順、敬称略）

遠藤 洋子	岡田 真弓
佐藤 一明	庄司 武史
鈴木 登	高橋 学
鶴岡 亜弥子	林 健一
藤本 行宣	

※委員10名中、9名が出席のため、審議会は成立した。

出席説明員：水道局長（古谷 靖）	工務課長（川村 憲司）
経営課長（土屋 弥世）	工務課主幹（山下 大吾）
経営課長補佐（鈴木 隆史）	経営課長補佐（洞毛 秀男）
工務課長補佐（鈴木 良祐）	

事務局職員：工務課主任（岡野 健司）	経営課主任（柳沼 翔太）
経営課主任主事（星野 良太）	経営課主事（湯下 詩織）

会議公開の状況：公開

傍 聴 者：無し

**【議事内容】**

1 開 会

(1) 我孫子市水道事業管理者挨拶

2 議 題

(1) 諮問事項

林会長の議事進行により諮問事項1件について審議を行った。

**諮問事項** 我孫子市水道事業基本計画（案）及び経営戦略（案）について

・資料「基本計画及び経営戦略について」に基づき、事務局より説明。

**【審議結果】**

諮問事項については、基本的には事務局案を採用することとするが、次回の第3回我孫子市水道事業運営審議会（令和6年4月予定）時に、具体的な数字を示すこととし、審議継続とした。

**【質疑応答の内容】** （凡例…◇意見・質問 ◆回答）

◇岡田委員

内部留保資金の適正水準について、災害などの非常時の復旧費用を7億円と見込んだ根拠を教えてください。

◆柳沼経営課主任

熊本地震の概算被害額3,980,000千円（給水人口698,967人）を我孫子市の給水人口で割り返し、概算被害額701,333千円（給水人口123,168人）としました。

◇岡田委員

平成22年に料金値下げを行った背景を教えてください。その際は、その後の人口減少は見込めなかったのでしょうか。

◆洞毛経営課長補佐

当時も人口減少は見込んでいましたが、北千葉広域水道企業団からの受水量の減少を受けて値下げをしました。

◇岡田委員

法定耐用年数の考え方を教えてください。

◆川村工務課長

あくまでも会計上の年数であって、管路の寿命とはイコールにはなりません。法定耐用年数を過ぎた直後に、管を変えなければいけないということではありません。

◇佐藤委員

無効水量について、漏水はなぜ起きていて、どのように減らそうと考えているか教えてください。

◆山下工務課主幹

施設の老朽化により、漏水事故が頻発しています。施設を更新する資金や人員が不足しているため、工事ができていない影響が大きいです。今後、早期に漏水を検知する新システムの導入を検討していきたいと考えています。

◇佐藤委員

北千葉広域水道企業団からの受水について、平均で年180万 $\text{m}^3$ の基本水量の余剰をどう減らしていくのでしょうか。

◆鈴木工務課長補佐

北千葉広域水道企業団から割り当てられた、基本水量を変更することはできないため、いかに水を使用してもらうかが課題です。

◇佐藤委員

内部留保資金の適正水準について、災害時の復旧費用を見込むにあたり、熊本地震を参考としているが、断水件数や管路の耐震適合率など、市の規模を勘案し、より費用を多く確保した方が良いのではないのでしょうか。

◆柳沼経営課主任

比較対象を検証し、次回審議会でも再度提示させていただきます。

◇藤本委員

北千葉広域水道企業団からの水と、湖北台浄水場で浄水した水の成分は違うのでしょうか。

◆鈴木工務課長補佐

北千葉広域水道企業団からの水は川、湖北台浄水場で浄水した水は井戸が水源のため、若干成分も水温も異なります。

◇藤本委員

災害時はどのように水を供給するのでしょうか。

◆川村工務課長

各浄水場の配水池から、給水拠点である小・中学校へ水を運び、水を供給します。

◇岡田委員

基幹管路の耐震適合率について、国が発表する情報によると2028年までに全国平均で60%を目標とするとあるが、我孫子市はどう考えていますか。

◆山下工務課主幹

我孫子市の特性を踏まえて基幹管路と配水支管の、両方を併せての耐震適合率を底上げしようとしていて、現時点で基幹管路のみの耐震適合率は全国平均をやや上回っています。

◇藤本委員

我孫水のPRのため、インフォメーションセンターの「アビシルベ」を活用するのはどうでしょうか。

◆古谷水道局長

バードフェスティバルで実施した水道水に関するアンケートでは、安全な水を供給してほしいとの回答が約7割と一番高いです。広報やホームページでもさらに安全性をアピールし、給水量を増やしていきたいと考えています。

◇林会長

財政収支の見通しについて、今後資金が不足していくとありますが、今回料金の改定をする考えはありますか。

◆土屋経営課長

支出に関しては、人的にも物的にも努力はしてきています。歳入に関しては、水道は補助金を受けることが難しいため、水道料金の検討は避けて通れないと考えます。現在、基本計画の見直しを行う中で、他にも費用削減等の出来ることを検討した上で、再度審議会にて意見を頂戴したいと考えます。

◇林会長

災害復旧のための、管路のバックアップはありますか。

◆川村工務課長

災害時、仮に湖北台浄水場で水が作れなくなった場合、妻子原浄水場から湖北台地区全てを賄える程の水を送ることはできない状態です。

今回検討している、令和10年度までの計画の中には、送水管の布設事業は盛り込まれていませんが、次の計画等には優先度を高くして反映していかなければならないと考えています。

◇高橋委員

水を積極的に使って安全性を理解してもらうため、今どのような取り組みをしていますか。また、今後のどのような計画がありますか。

◆洞毛経営課長補佐

井戸の利用者等、水道を利用していない方に対し、水道水の安全性をアピールするチラシ等を配ることを検討しています。

また、低年齢の頃から水道水について理解を深めてもらうため、市内の小学校で出前授業を行っています。

◇高橋委員

今後、PR方法として、インターネットの動画やホームページをより活用することも検討してほしいです。

◆土屋経営課長

広報の大切さは日々感じています。ぜひ検討したいです。

◇藤本委員

我孫子の魅力発信の一つとしてPRすれば、より利用者が増えると考えます。

◇林会長

それでは、まとめに入りますが、ここで改めて水道局の方向性を事務局から示していただいてよろしいでしょうか。

◆鈴木経営課長補佐

1、今回見直す計画の中では、まず一つ目として、約2年分の資本的支出に相当する額を留保する。二つ目としまして、大規模な災害時には、料金収入が見込めないため、災害時において災害復旧費用を、熊本地震の被害想定額を参考とさせていただきます。三つ目として、災害時に水道事業を継続するために、復旧までに要する経常的な費用を6ヶ月間想定して適正な内部留保額を算出しました。

2、資金が不足する中で予定事業を実施していくことについてですが、現状の計画では最短でも令和13年度に資金不足が生じるということが今回の検討でわかりました。

市民アンケートでは、安価な水道料金よりも安全な水質の水道水を継続的に供給することが求められていましたので、引き続き安全な水道水を安定して供給できるように事業の方は進めていきたいと考えています。

3、費用縮減や収益増加に向けた取り組みについてです。

これまでも水道局では、コスト縮減策として、①包括委託による人員削減、②受水割合を増加させる、③工事においては、口径や材料の見直し、再生材の活用、他事業者との同時施工などの取り組みを進めてきましたが、現状においては、市民ニーズの増加による業務量の増加などで、災害時における最低限の水量の確保が必要であることを考慮すると、更なる大きな費用縮減策や収益増加の取り組みというのは、困難であると考えています。

4、資金の調達方法について、水道事業の改築更新にかかる費用の財源というのはこれまでに、水道局で留保してきた内部留保資金等、企業債による借入金によって賄われています。内部留保資金は企業債の借り入れを行うことで、増加することはできますが、一方で負担を先送りすることになります。仮に料金収入を上げることで大きな収益増となって、内部留保資金を増加させることもできますが、市民生活への影響を考慮すると、慎重に検討はしていきたいと考えています。

以上が水道局での考え方です。

◆古谷水道局長

水道局では内部留保資金額を増やしていきたいと考えています。ご審議いただきたい事項としては、引き続き費用縮減や収益増加のための取り組みを行っていきますがやはり限界があり、資金の調達方法について考えなくてはなりません。

この課題を解決するため、令和6年度においても業務委託を予算計上しており、次回の審議会でのこの課題についての具体的な数値をお示しできると思うのでご確認いただきたいです。

◇鈴木委員

その予算は議決されたのですか。

◆古谷水道局長

3月議会の議案として上程予定です。議会への説明にあたっては「審議会において財源確保等の必要性について説明したが、やはり専門家にも意見を聞き、具体的な数値をお示しいただければ判断できない。」旨の意見を委員からいただいたことを説明すれば、本業務委託の予算については納得いただけると考えています。

◇林会長

ただいま水道局長よりご説明がありましたが、我々の意見といたしまして「基本的には事務局の考え方をベースにしなが、今後具体的な数値をお示しいただき、論点等についてさらに細かく審議していく。」ということで特にご異議ないでしょうか。

(異議なし)

◇林会長

それでは、委員の意見といたしましては「本日いただいた様々な意見を踏まえながら、我孫子市の水道事業を持続可能なものにしていけるよう、今後さらに細かな論点について審議していく」ということでまとめたいと思います。

ここで、事務局から事務連絡等あるかと思しますので司会進行を引き継がせていただきます。それではお願いいたします。

◆土屋経営課長

園委員が今日欠席ですが、昨日メールで質問を二つ頂戴しています。今まで欠席者からのご質問を取り扱ったことがなかったもので、事務要領等は定めていませんが、意見は大変貴重ですのでこれからは審議会内で取り上げたいと考えていますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

以上をもって質疑回答は終了した。なお、傍聴者はいなかったため、傍聴者の発言は行われず、審議会を終了した。

以上